

嫌われがち施設の 配置傾向の定量分析

B5R11070 櫻井 曜 根本研究室

目次

1.はじめに

1-1.背景

1-2.嫌われがち施設とは

1-3.研究の目的

2.問題への取り組み

2-1.方法の説明

2-2.神奈川の場合

2-3.長野県の場合

2-4.2県を比べてみて

3.最後に

1はじめに

1-1. 背景

隣に高層マンションが建っていて日が差さない。

墓地が近くにあって夜怖い。

保育園、幼稚園が近くでうるさい。

NIMBY(ニンビー)

“Not In My Back Yard”(我が家の裏には御免)の略語で、
「施設の必要性は認めるが、自らの居住地域には建てないでくれ」と
主張する住人や、その態度を指す言葉である。

1-2.嫌われがち施設とは

衛生面と環境への影響から反対される施設

下水処理場、火葬場など

風紀や治安の悪化を理由に反対される施設

パチンコ・スロット店、ゲームセンターなど

その他の施設

ダムなど

火葬場は新設・改築・移転には当該地域の住民による反対運動が起こりやすい。

住宅地から離れた場所に立地しようとするのが一般的だが、

日本の都市事情を考慮すると、必ずしもそのような場所に作れるとは限らない。



1-3. 研究の目的

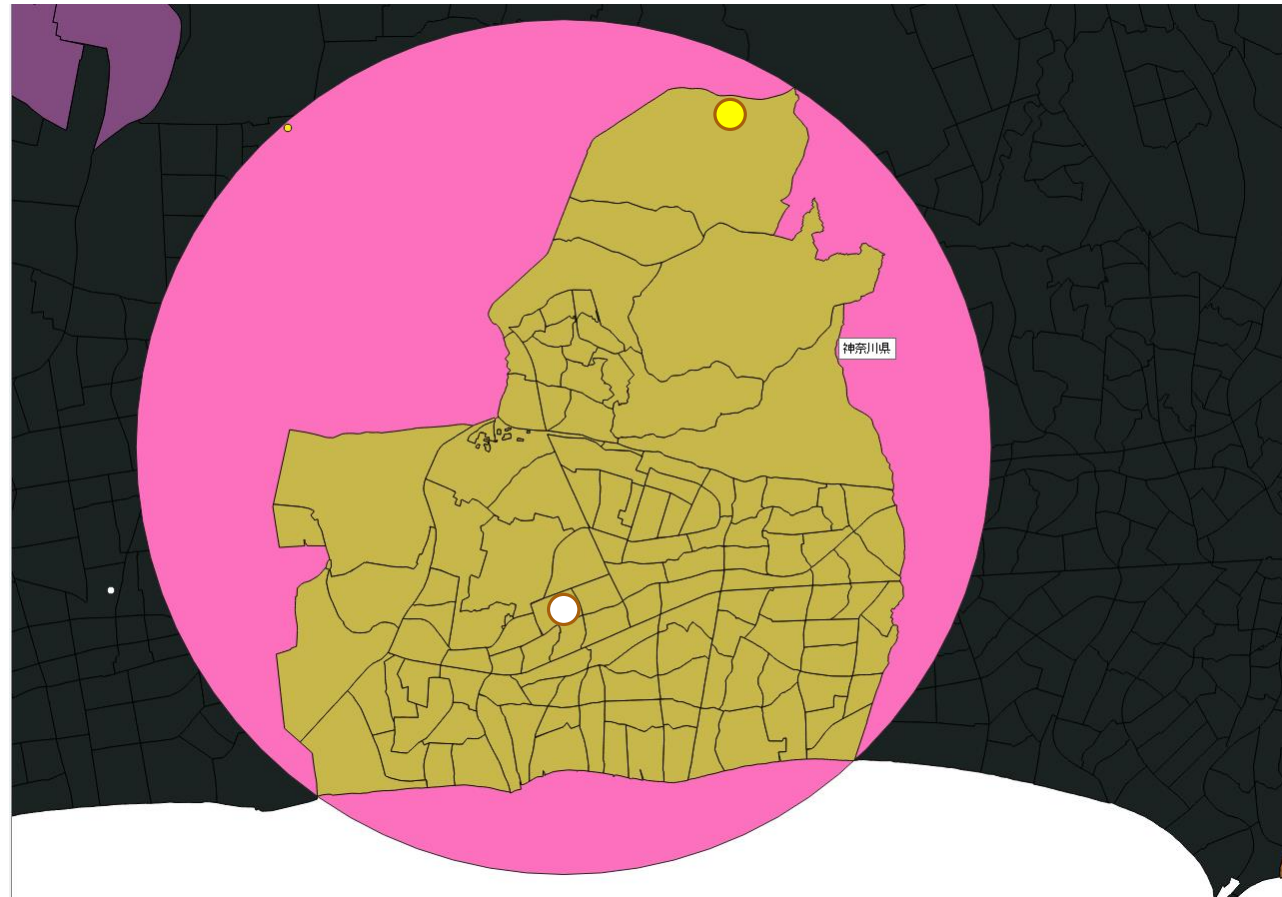
各市町村の嫌われがち施設における
配置傾向の定量化する手法を提示する。
今回は火葬場を用いて神奈川県と長野県で行う。

2.問題への取り組み

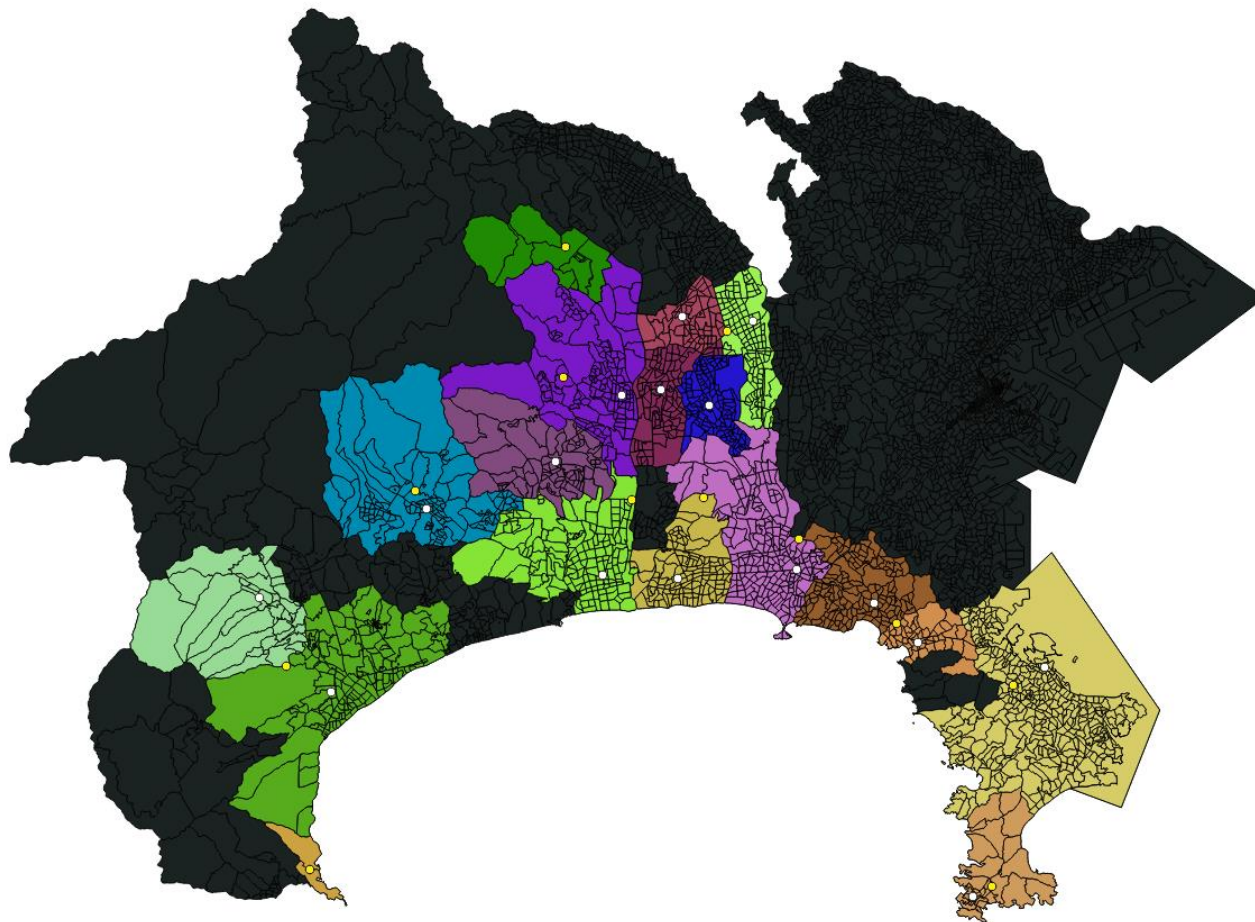
2-1.手法の説明

1.市役所から端を基として
割合を求める。

2.市役所から火葬場までを
基にして求める

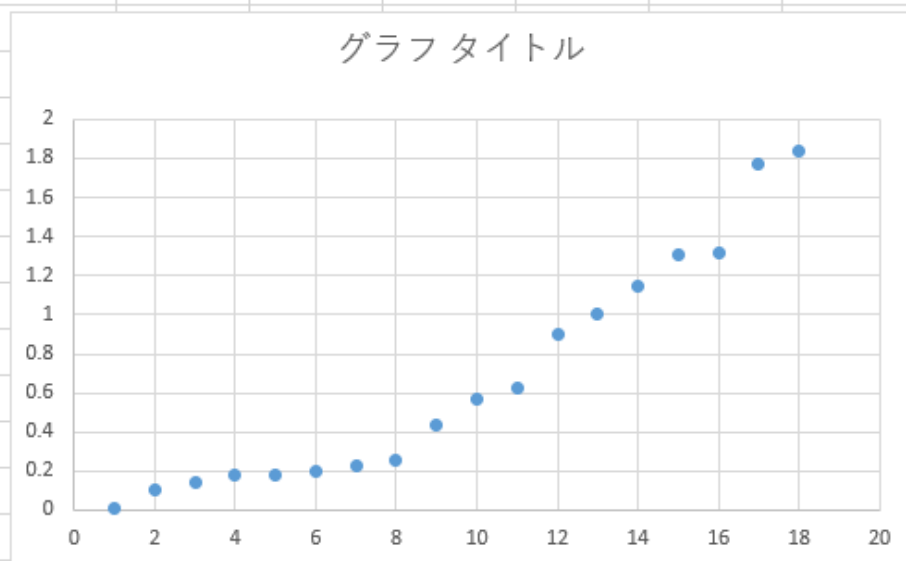


2-2. 神奈川県の場合



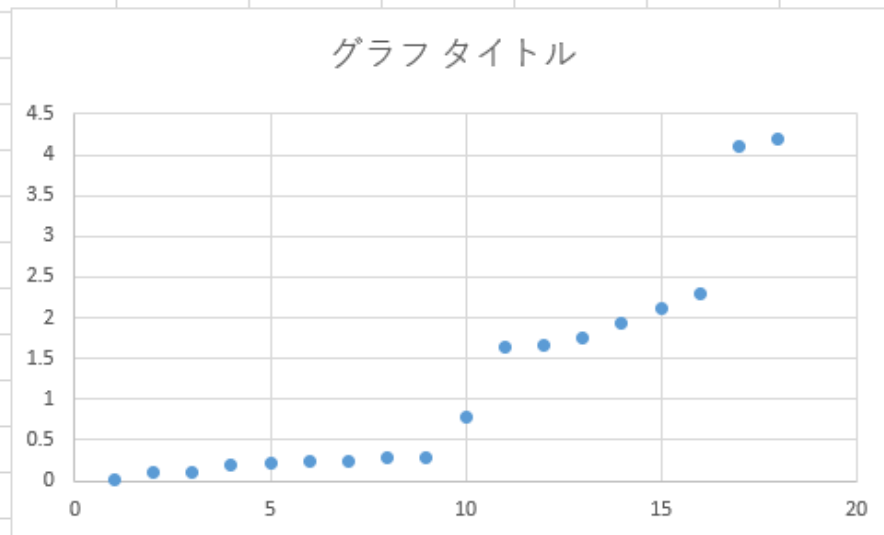
市役所から端を1としたとき

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	座間	3111.7	17.2	0.005528							
2	茅ヶ崎	5623	602.8	0.107203							
3	海老名	4139.9	590.5	0.142636							
4	平塚	6753.8	1217.3	0.180239							
5	南足柄	6183.1	1119	0.180977							
6	伊勢原	6947.3	1358.8	0.195587							
7	逗子	2432.7	542.8	0.223127							
8	綾瀬	3965.2	1019.4	0.257087							
9	鎌倉	3583.1	1552	0.433144							
10	大和	5585	3190.6	0.57128							
11	小田原	9188.9	5712.7	0.621696							
12	愛甲郡相川	3144.7	2842.6	0.903934							
13	足柄下群真鶴町	3384.4	3405.1	1.006116							
14	藤沢	3728.3	4275.5	1.146769							
15	秦野	4271.9	5599.4	1.310752							
16	横須賀	7666.2	10065.5	1.312971							
17	三浦	1791.8	3175.7	1.772352							
18	厚木	4357.3	8014.7	1.839373							
19		市役所一端	端一火葬場								

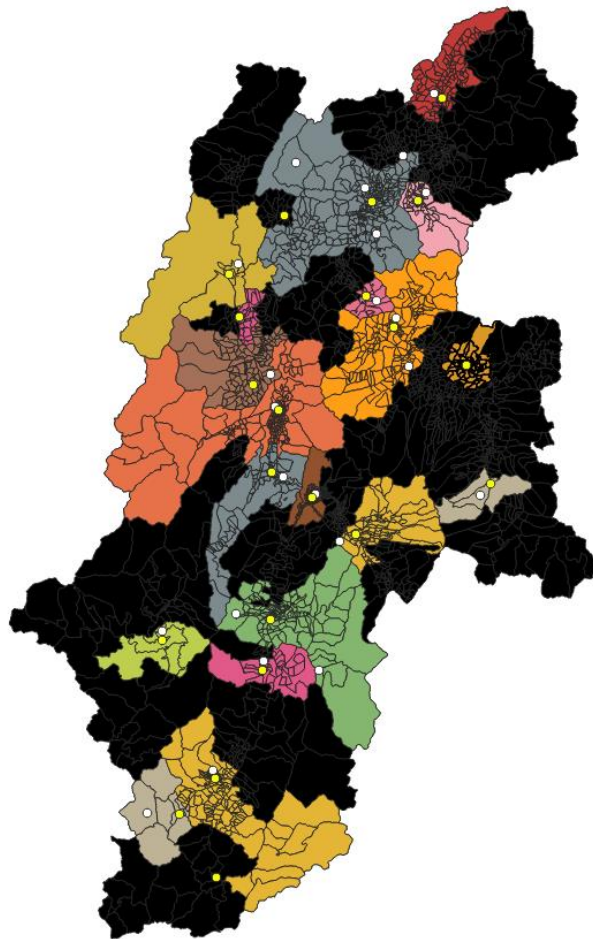


市役所から火葬場を1としたとき

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	座間	17.2	3064.6	0.005612							
2	海老名	590.5	5898.9	0.100103							
3	茅ヶ崎	602.8	5545.4	0.108703							
4	綾瀬	1019.4	5080	0.200669							
5	平塚	1217.3	5357.9	0.227197							
6	南足柄	1119	4884.2	0.229106							
7	伊勢原	1358.8	5602	0.242556							
8	逗子	542.8	1933.9	0.280676							
9	足柄下群真鶴町	3405.1	11870.8	0.286847							
10	鎌倉	1552	1977.8	0.78471							
11	大和	3190.6	1947.7	1.638137							
12	小田原	5712.7	3455.8	1.653076							
13	愛甲郡相川	2842.6	1624.5	1.749831							
14	厚木	8014.7	4125.1	1.94291							
15	藤沢	4275.5	2012.4	2.124578							
16	三浦	3175.7	1390	2.284676							
17	秦野	5599.4	1364.2	4.10453							
18	横須賀	10065.5	2400.2	4.193609							
19		端一火葬場	火葬場一市役所								



2-3.長野県の場合



市役所から端を1としたとき

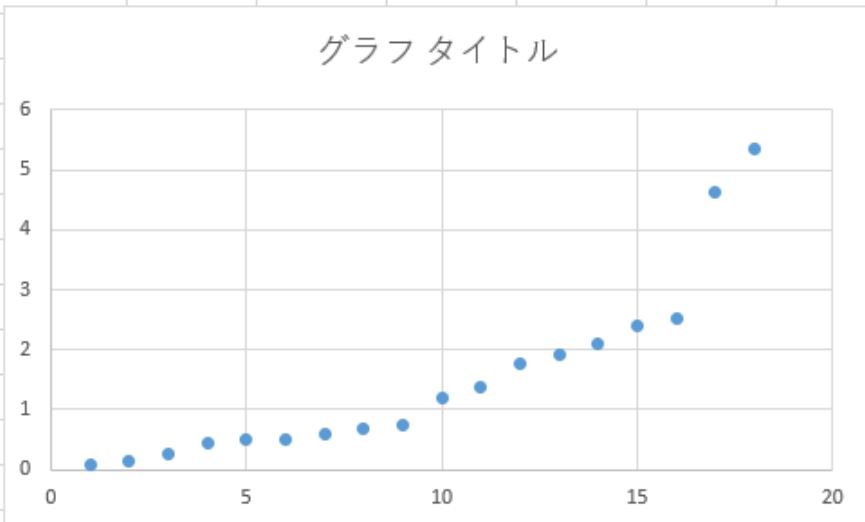
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	長野市	13056.9	1033.7	0.079169							
2	上田市	10543.6	1389	0.131739							
3	茅野市	4902.7	972	0.198258							
4	駒ヶ根市	2735.6	820	0.299751							
5	須坂市	3548.6	1190.6	0.335513							
6	上松町	3357.4	1141.8	0.340085							
7	安曇野市	6658.3	2448.6	0.367752							
8	伊那市	12771.5	5170.5	0.404847							
9	塩尻市	7538.6	4830.6	0.640782							
10	大町市	16865	13849	0.821168							
11	池田町	356.1	301.4	0.846391							
12	松本市	6992.1	6122.1	0.875574							
13	岡谷市	2495.1	2235.9	0.896116							
14	小諸市	4778.4	4816.9	1.008057							
15	飯田市	3929.9	4634.5	1.179292							
16	飯山市	2968.4	4917.1	1.656482							
17	小海町	1961.6	4071.4	2.075551							
18	坂城町	2297.9	4854.8	2.112712							
19	阿智村	2658.8	9807.3	3.688619							
20											
21											
22		市役所一端	端一火葬場								

グラフタイトル

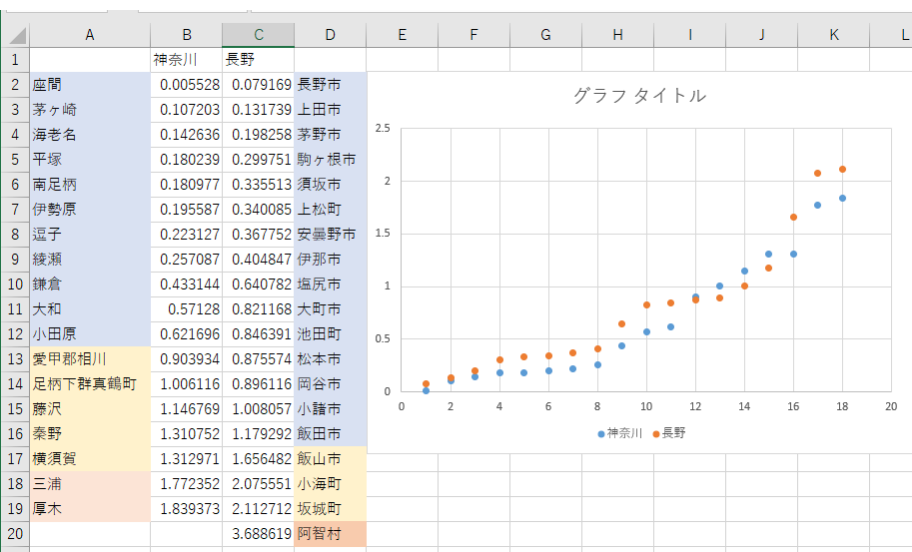
X	Y
1	0.079169
2	0.131739
3	0.198258
4	0.299751
5	0.335513
6	0.340085
7	0.367752
8	0.404847
9	0.640782
10	0.821168
11	0.846391
12	0.875574
13	0.896116
14	1.008057
15	1.179292
16	1.656482
17	2.075551
18	2.112712
19	3.688619

市役所から火葬場を1としたとき

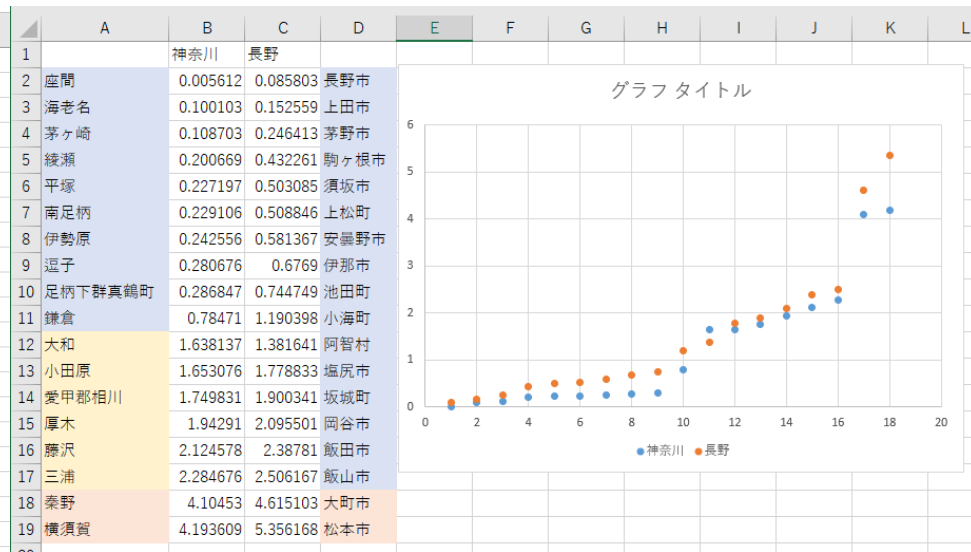
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	長野市	1033.7	12047.3	0.085803							
2	上田市	1389	9104.7	0.152559							
3	茅野市	972	3944.6	0.246413							
4	駒ヶ根市	820	1897	0.432261							
5	須坂市	1190.6	2366.6	0.503085							
6	上松町	1141.8	2243.9	0.508846							
7	安曇野市	2448.6	4211.8	0.581367							
8	伊那市	5170.5	7638.5	0.6769							
9	池田町	301.4	404.7	0.744749							
10	小海町	4071.4	3420.2	1.190398							
11	阿智村	9807.3	7098.3	1.381641							
12	塩尻市	4830.6	2715.6	1.778833							
13	坂城町	4854.8	2554.7	1.900341							
14	岡谷市	2235.9	1067	2.095501							
15	飯田市	4634.5	1940.9	2.38781							
16	飯山市	4917.1	1962	2.506167							
17	大町市	13849	3000.8	4.615103							
18	松本市	6122.1	1143	5.356168							
19											
20		端一火葬場	火葬場一市役所								
21	小諸市	4816.9	47.5	101.4084							



2-4.2 県を比べてみて



市役所から端



市役所から火葬場

各市町村において市役所から端までを1とした手法では割合が小さくなるのに対して市役所から火葬場までを1とした手法では面積によって割合が変化してしまうことが分かった

3.最後に

今後の課題として、今回は政令指定都市である横浜市や相模原市を含めて考えてみたい。

また可住地域や人口密度のデータによって結果が変化するかたしかめていきたい。